



保健のページ

RS ウイルス感染症をご存知でしょうか？冬場に流行する感染症のひとつで、RS ウイルスによって引き起こされる呼吸器の感染症のことです。何度も感染を繰り返しますが、生後 1 歳までに半数以上が、2 歳までにはほぼ 100%の子どもが、少なくとも一回は感染すると言われています。初めての感染の際に重症化しやすいと言われており、乳児さんは特に注意が必要になります。

【どんな症状かな？】

・発熱

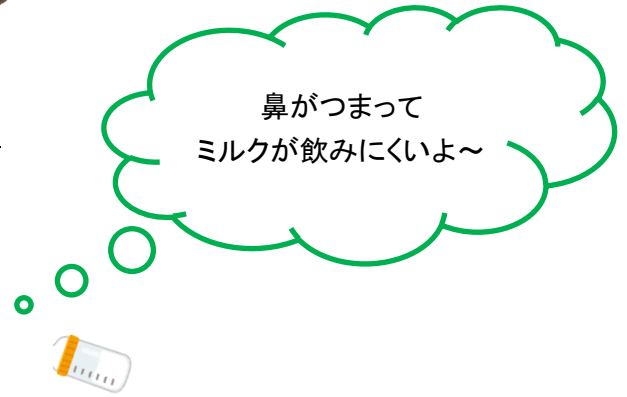


・鼻水



悪化していくと...

- ・咳がひどくなる
- ・喘鳴(ヒューヒューした呼吸)
- ・呼吸困難



【どうやって感染を防ぐ？】

感染経路は飛沫感染と接触感染です。

※飛沫感染→感染者からの、咳やくしゃみなどのしぶきを浴び、吸いこんで感染を起こすこと

※接触感染→感染者との濃厚な接触、ウイルスのついた手指や物品を触ったり、なめたりすることで間接的に感染を起こすこと

1 月号でもお伝えしましたが、「咳エチケット」を意識し、鼻をかんだあとのティッシュは速やかに捨て、手を洗うことを意識しましょう。

園内では、感染症の流行に関わらず、子どもたちが使用しているおもちゃ類や手すりなどの室内環境は、毎日消毒しています。

【治療方法は？】

RS ウイルスには特効薬はありません。

鼻水をこまめに取りながら、回復してくるのを待ちます。

ただし、哺乳量の低下や呼吸の仕方がおかしいなど、呼吸が苦しそうであれば入院加療が必要な場合もありますので、速やかに受診をしてください。

看護師より

